



本箱のテーマ
懐かしい未来



『クララとお日さま』
カズオ・イングロ / 著 土屋政雄 / 訳 早川書房
人工的に作られた友達 (AF) クララの純粋な心の美しさと、人間の身勝手さとの対比に考えさせられる作品。小学校高学年からおすすめです。いま世間を騒がせている AI とは、一体何のために、誰のために発展していくのでしょうか？ これからの未来を生きていく当事者の子どもたちにこそ読んで欲しい物語です。読後感は美しくも切ないです。(おおさん)



『鋼鉄都市』
アイザック・アシモフ / 著 福島正実 / 訳 早川書房
アシモフのロボット三原則の盲点を突いた SF ミステリーです。ロボットや AI と共存する世界の参考になるのでは？ (こばゆた)



本箱のテーマ
もし/週間休みがあつたら

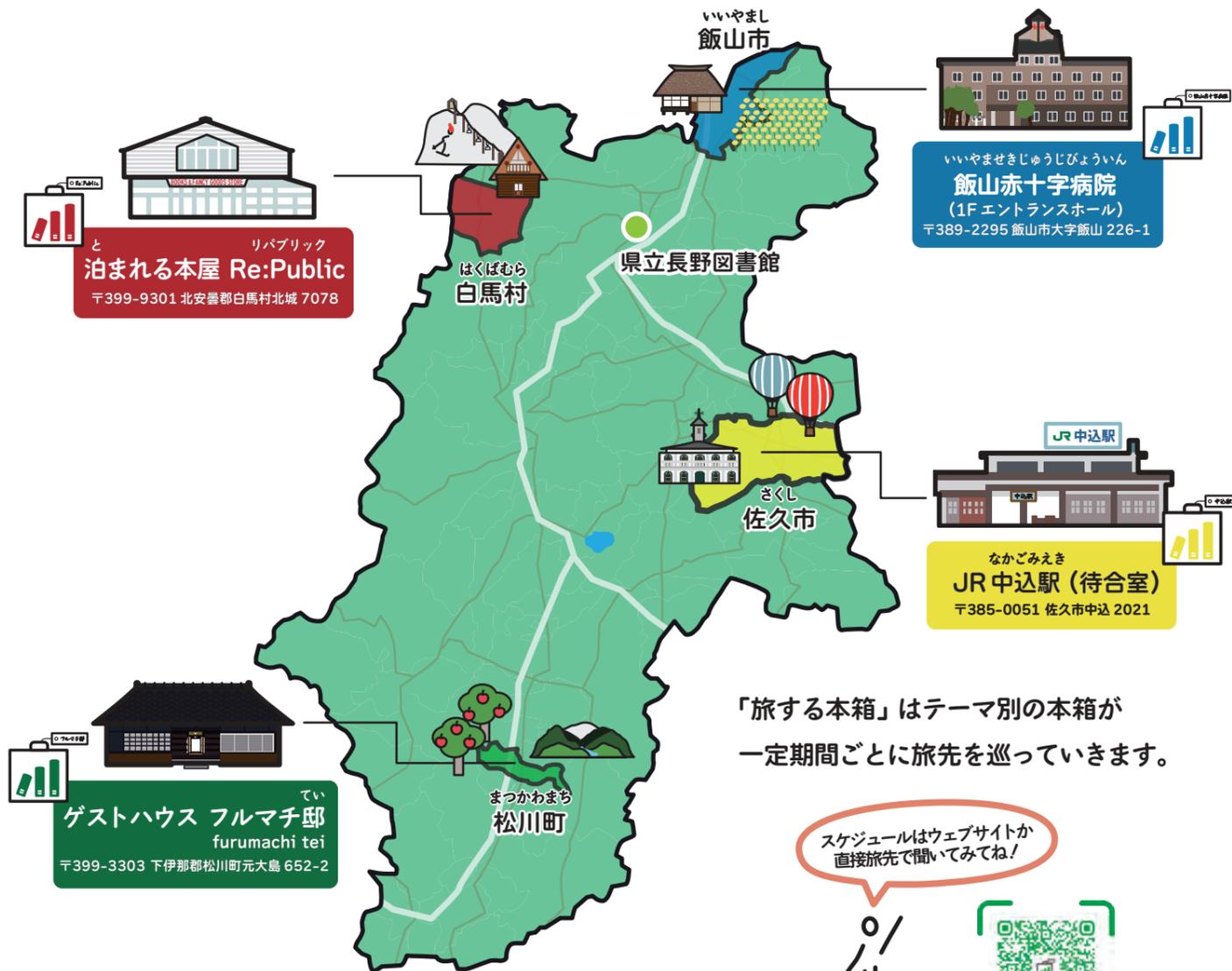


『ぼくはいつどこにいるんだ』
ヨシタケシンスケ / 作 ブロンズ新社
絵本であっても考えさせられる、そんな作風のヨシタケ シンスケが一冊。"自分のつかまえたかた"について、ゆっくり考えてみる一週間とかどうでしょう。どこかに出かけて、書き足して、また何かして……みたいな。(片雲)



『ツリーハウスがほしいなら』
カーター・ヒギンズ / 文 エミリー・ヒューズ / 絵 千葉茂樹 / 訳 ブロンズ新社
木の上に家を作る。空想するだけで、ソクソクします。お気に入りのものに囲まれた、自分だけの天空の城。窓から見える景色はどんなだろう？ 時々、小動物や鳥が窓から遊びに来てくれたら嬉しいかも。あなたなら、どんなツリーハウスにする？ (izumimi)

本箱の旅先マップ



「旅する本箱」はテーマ別の本箱が一定期間ごとに旅先を巡っていきます。

スケジュールはウェブサイトか直接旅先で聞いてみてね!



「旅する本箱」ウェブサイト

旅先オーナーになりませんか？



テーマ別、本のリスト



「旅する本箱」では、旅先オーナーさんを募集中です
「今ある空間に『旅する本箱』を設置したい」とお考えの方は、ぜひ下記の『旅する本箱』旅先募集連絡先(県立長野図書館)までご連絡ください!



Re:Public の設置風景



飯山赤十字病院の設置風景



フルマチ邸の設置風景



JR 中込駅の設置風景

? 旅先オーナーさんのギモン

Q 旅先になるために必要なものは?

A 本箱を設置するための場所のみです。物品等は必要ありません。

Q 旅先では何をしますか?

A 2カ月に1回程度、次の旅先に本を送り出し、前の旅先から本を受け取ります。詳しいスケジュールや方法は別途ご案内します。

Q 本は集める必要はありますか?

A ありません。本はこちらで用意しますが、本を選ぶ作業にご参加いただけると嬉しいです。

Q 費用はかかりますか?

A 費用負担はありません。



Q 日々の管理はどのようにすればいいでしょう?

A 設置したら利用者の皆さんには基本は設置場所で読んでもらいます。持出(貸出)をする場合はノートなどで貸出簿を作成・管理をお願いいたします。

募集期間 2025年2月末日まで

「旅する本箱」旅先募集連絡先
〒380-0928 長野県長野市若里1-1-4
県立長野図書館 総務企画課 企画係
026-228-4939
ken-tosho@library.pref.nagano.jp

※原則として、東南中北信に1カ所ずつ、先着順とさせていただきます



本箱のテーマ
今日何食べよう



『世界の台所探検』
岡根谷美里 / 著 青幻舎
世界の台所探検家の岡根谷さんは、長野県出身です。実は、高校で同じ学年だったので、今こんな活動をしているのに驚きました。ただ料理と一緒に作るだけでなく、そこからその国や地域で暮らす人たちのことがわかってきます。知らない世界を教えてください。素敵な活動だと思えます。(とよみ)



『世界の郷土料理事典』
青木ゆり子 / 著 誠文堂新光社
「今日は日曜だし何かここにあるものから作ってみるか」と思いページを開くとあつという間に1時間ぐらい経っていて結局何をつくるか全く決まらない。でも、全く行ったこともなければ一生行くこともないようなモーリタニアの郷土料理が今は不思議と我が家の定番料理になっています。(jun)



本箱のテーマ
あなたも行きたくなる



『民俗学の旅』
宮本常一 / 著 講談社
旅に出て、スマホの画面だけを眺めている君! 旅に出ることは目的地に行くことではない! 宮本善十郎が息子に語った十か条が所収されたこの本は、どこでもドアでは味わえない「旅」を語ってくれる。(ぶらた・森)



『旅の絵本』
安野光雅 / 作 福音館書店
字のない絵本です。読んだ人それぞれが創造する物語があると思います。どんな旅に行かれたのか、気になりますね。(つぐら)